

碧南市地域農業再生協議会 議事録

1 開催日時

令和4年4月25日（月）午後3時から午後3時40分まで

2 場所

碧南市役所7階 議員大会議室

3 現在会員数

会員24名、監事2名

4 出席会員数

会員20名、監事2名

禰冨田 政信（会長）	神谷 昌明（副会長）	市古 昭子	黒田 実
金子 さか江	長谷部 実	山中 力四郎	加藤 浩孝
角谷 正子	鳥居 勝行	原田 孝司	磯貝 孝弘
金原 節子	下島 良一	杉浦 孝明	石川 清勝
近藤 正孝	永坂 邦男	山中 光弘	生田 和重
藤浦 利吉（監事）	三島 孝二（監事）		

5 出席事務局

事務局長（碧南市農業水産課長）	牧 勝彦
事務局（碧南市農業水産課農政振興係長）	本多 真
事務局（碧南市農業水産課農政振興係主事）	北村 信晃

6 オブザーバー

東海農政局愛知支局より2名

7 傍聴人

0名

8 議事とその結果

【事務局】

～本協議会の成立を報告～

【会長】

あいさつ

【事務局】

ありがとうございました。規約第13条第2項により、議長は会長とするためこれからの進行は会長よりお願いします。

【会長】 それでは規約に基づきまして議長を務めさせていただきます。円滑な進行に協力をお願いいたします。まず始めに議事録署名人を選任します。私から指名させていただきます。よろしいですか。

【会員】

異議なし。

【議長】

それでは今回の議事録署名人は磯貝孝弘様と金原節子様をお願いいたします。

【議長】

それでは議事に入ります。第1号議案「令和3年度事業報告及び収支決算について」事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

～第1号議案説明～

ここで監査報告をお願いします。

【監事】

去る4月7日に監事2名による監査を行いました。

通帳、帳簿等、関係書類を監査いたしました。適正に事務処理がなされていることを確認しましたので御報告いたします。監査報告は以上です。

【議長】

ありがとうございました。ただいま事務局と監事からの説明が終わりました。これより質疑に入りたいと思いますが何かご質問等ございますでしょうか。

特段ないということでございますので、第1号議案につきまして、承認される方は挙手をお願いいたします。挙手全員ということでございますので、第1号議案を承認いたします。続きまして、第2号議案「令和4年度事業計画及び収支予算について」事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

～第2号議案説明～

【議長】

ただいま2号議案につきまして説明が終わりました。これより質疑に入ります。何

かご質問等ございますか。

【会員】

加工用米の事業について終了することだが、何か支障があったのか。

【事務局】

資料にも記載のとおり、契約満了に伴うものでございますが、加工用米の作付作業についても、収穫後の管理を主食用米と厳密に仕分ける必要があること、小麦との二毛作による作業の負担等オペレーターに負担が大きくなっていたという事情もございました。

【会員】

飼料用米について検討する記載されているが、だいたいの目標面積等は決まっているのか。

【事務局】

現時点では確定した目標等はございませんが、周辺市においても飼料用米の取組をされている事例もあるため、今後碧南市内でどのような形でできるのか検討を続けていきたいと考えております。

【会員】

飼料用米について取組を行う場合は、またどこかと契約する形になるのか。

【事務局】

現状オペレーターの方に飼料用米の作付を行っていただくとなると、どの程度の補助金を受けることができるかが争点となります。それについては営農部会さん、JAさんと協議をしながら検討をしていきたいと考えております。将来的に取組を行う場合にはJA経済連さんを通じて契約が必要になる形となろうかと思えます。

【会員】

加工用米は終了し、飼料用米についてまだ検討中という形になるが、転作として何か影響はあるのか。

【事務局】

現状碧南市としては県から示された生産目安を達成できる見込みがあるため、これからさらに飼料用米の取組等を必ず行わなければならないという状態ではございません。ただ、国及び県の交付金の追加交付等への影響もあるので、それらも加味しながら検討を進めていきたいと考えております。

【会員】

主食用米の値段も下落しているなかで、飼料用米への取組をしながら生産調整ということも考えなければならないのではと感じるが、飼料用米への取組は積極的に推進したいという考えなのか。

【事務局】

県から示された生産目安を守りながら生産調整を進めていきたいと考えております。現状の見込みとしては3年間ローテーションを決めたことで、生産目安を基本的には守れる見込みがあるため、これ以上さらに転作を進めるという考えはありません。先ほどもご説明したとおり、飼料用米については補助金の状況も見ながら検討をしていきたいと考えております。

【議長】

他にございますでしょうか。特段ないということでございますので、第2号議案につきまして、承認される方は挙手をお願いいたします。挙手全員ということでございますので、第2号議案を承認いたします。

これで議案につきましては、全て審議を終えましたが、引き続き 3 その他 というところで何かございますか。

【事務局】

～3 その他（令和4年度会議開催予定）説明～

【議長】

ただいま事務局からの説明が終わりました。何かご質問等ございますでしょうか。

特段ないということでございますので 3その他 につきましては以上とさせていただきます。また、オブザーバーとして東海農政局の方にお越しいただいておりますので、昨今の状況等についてお話いただけないでしょうか。

【オブザーバー】

～昨今の米生産調整の状況、みどりの食料システム戦略等について説明～

【議長】

ありがとうございました。何かご質問等ございますか。

【会員】

国としては飼料用米への補助メニュー取組を積極的に推進したいという考えなのか。

【オブザーバー】

国としても飼料用米の取組については補助金のメニューを用意させていただいてある程度時間が経過してまして、需要もある状態なので取り組んでいただきたいと考えております。制度として基準単収分の収穫がある場合は一反当たり8万円の補助がされ、さらに単収が上がれば105,000円まで補助の単価が上がる形となっております。その分国としても予算がかかる状態であるため、財務省からの指摘も受けている現状がございます。そのため、飼料用米も取り組んでいただいても結構なのですが、財務省からの要請としては、やはり小麦、大豆、野菜等の高収益作物への転換を増やしていただきたいとのことでした。

【議長】

ありがとうございました。他にございますでしょうか。それでは、以上をもちまして碧南市地域農業再生協議会を閉会いたします。慎重な審議をありがとうございました。

～午後4時 終了～

議事録署名

議長 禰亘田 政信

会員 磯貝 孝弘

会員 金原 節子